



ミニキャン7期 | Zoomレッスン 第1回

メロン・夕張メロン

作り方はほぼ同じなので、2種類を同時に進めます。
半球のメロンを作ってから、4等分にカットします。

🕒 始める前に：カットまでの時間を確保しておく

成形したあと、4〜5時間置いてからでないとカットできません（中が半生の状態で切ります）。

成形してから4〜5時間後にカットする時間が取れる方だけ、作り始めてください。夜にカットする場合は、網目が乾いたら爪楊枝から外してラップで包んでおきます。

🕒 用意するもの

粘土

樹脂粘土（モデナ） モデナベースト／網目用

塗料（透明感のあるもの）

メロンシロップ／メロンの果肉 レモンシロップ／色の調整・完熟感
オレンジシロップ／夕張メロンの果肉

絵の具（アクリルガッシュ）

● ディープグリーン ● ローアンバー ● 松葉色
● イエローオーカー ● ホワイト

仕上げ材

ジェルメディウム／果肉（ツヤありニスでも可） ツヤなしニス／皮

道具

スケール／今回はH ベビーオイル・綿棒 爪楊枝・スポンジ／乾燥用
OPPシート・アートプレスナー ハサミ・ピンセット・歯ブラシ
カッターの刃／よく切れるきれいなもの

その他

筆／塗料・ニス用は「二軍」の筆でOK
コルネ（OPPシート）・セロテープ・マスキングテープ
木工用ボンド／皮がはがれたとき用 ティッシュ・ラップ・ジップロック

0 観察：メロンの「4つの緑」

作り始める前に、本物が写真を手元に用意します（スマホで「メロン」「夕張メロン」と検索してOK）。

部分	特徴
① 果肉	黄緑だけと思っているより黄色い。種に近いほど黄色くなる（中心から熟するため）
② 果肉と皮の間	濃い緑が一層入っている
③ 網目の内側	緑
④ 網目	立体的。思っているより白っぽく黄色っぽい

この4つの緑を1つずつ合わせないと、どこか不自然なメロンになります。

夕張メロンだけの違い

- 果肉は明るく強めのオレンジ
- オレンジの果肉と皮の間に、緑の層が一層ある（普通のメロンでは果肉と同じ色で見えないだけ）

★ 観察がクオリティを決める

「果肉をオレンジに変えればいい」と頭だけで考えると、この緑の層に気づけません。小さなところに気づけるかどうかで、本物らしさが変わります。

1 粘土を計量・オイルを塗る

スケールH 1個分 = 半割メロン1個分（大きめはI、小さめはGでもOK）。
作りたい個数分、3種類を計量します。

① メロンの果肉：H × 個数

② 夕張メロンの果肉：H × 個数

③ 夕張メロンの緑の皮：H × 個数
夕張メロン1個につきH 1個分。量はだいたいOK。

④ 計量したらすぐラップ。元の粘土もラップしてジップロックへ
樹脂粘土はちょっとした作業の間にも乾きます。

⑤ 綿棒にベビーオイルをつけ、スケールのHの穴にたっぷり塗り込む
少ないと、あとで抜けなくなります。

💡 オイル塗りの便利グッズ

ダイソーのメイクコーナーにあるリップ用の詰め替え容器（スポンジチップ付き）にベビーオイルを入れておくと便利。必ず液を入れてからフタを開めること（空のまま開めると開かなくなります）。

2 果肉を着色する

メロン（メロンシロップ）

⚠️ メロンシロップは振らない！

このシロップは緑が下に沈み、上に黄色が乗った二層になっています。振らずに使うことで黄緑を出します。

① 爪楊枝を混ぜずに瓶へまっすぐ差し込んで引き上げる
先が緑、上が黄色になっています。

② 粘土に少しずつのせて混ぜる。緑はほんの少しで十分

③ 手元の写真を見ながら、緑の量を調整して色を足していく

- 振ってしまった場合：緑をほんの少しだけ取り、レモンシロップを足して黄緑を目指す
- 目指すのは熟したメロンの「少し黄色寄り」。緑寄りだと熟していない硬いメロンに見えます
- 樹脂粘土は乾くと少し濃くなるので、目標の色の手前で止める

♡ 迷ったら薄めに

薄い分はカット後にリカバリーできますが、濃すぎると戻せません。

💡 塗料の扱い

固まるのがとても早いので、使ったらすぐフタを開める。瓶の口についた塗料は拭き取る（フタが開かなくなります）。



メロンの果肉の色（思っているより黄色寄り）

夕張メロン（オレンジシロップ）

- オレンジシロップを爪楊枝でのせる。たっぷり入れてOK
- 一気に入れると手が汚れるので、少しずつ折り込むように混ぜる
- 写真を見ながら、明るくパンとしたオレンジを目指す
- 着色したらラップで包み、すぐ手を洗う（時間がたつと落ちません。服にも注意）



夕張メロンの果肉の色

★ なぜアクリルガッシュでなくシロップ？

メロンは透け感のあるフルーツ。アクリルガッシュは透明感を消してしまうので、透明度のあるシロップ系の塗料で色を入れます。

3 スケールに詰める・取り出す

① 粘土をよくこねて空気を抜く

② 表面をつやつや・つるつるに整える
ひびがあると、そのまま残ります。

③ Hに押し当て、ぎゅっぎゅっと押し込む。はみ出た分は取り除く

④ 裏側からも見て、**しっかり密着**しているか確認
上の面はでこぼこでもOK（あとで切り落とします）。

⑤ 縁に親指を少し入れて押すと反対側が浮いてくる → そこから手で取る

⑥ 真ん中に爪楊枝を刺し、スポンジの上で乾かす

- メロンを取り出したら、Hにもう一度オイルを塗って**夕張メロンも同じように**詰めて取り出す
- 抜けないときはオイル不足のサイン。**30分ほど置く**と抜けやすくなります

⚠ 爪楊枝は深く刺しすぎない

種の部分（あとで取り除く範囲）までならOK。それより深いと穴が残ります。

4 夕張メロンの緑の皮をかぶせる

着色して薄く伸ばす

① 皮用の粘土に**松葉色**を爪楊枝で少しずつ入れる
写真を見ながら濃さを決めます。

② H 1個分を丸め、OPPシート2枚で上下を挟む



皮用の粘土の色（松葉色）

③ アートブレッサーで押す。粘土をくるくる回しながら少しずつ、裏返してもう一度

④ 目安は**直径約5cm／厚さ約1mm**
いろいろな方向から厚みを確認。中心だけ厚くなっていないか触ってチェック。6cmまで広がったら薄すぎるのでやり直し。

💡 アートブレッサーのコツ

外側に力が入りやすく、真ん中が盛り上がりがち。**内側から外側へ**力かけるイメージで。力が足りなければ立って押します。

果肉にかぶせる

① 皮をはがし、夕張メロンの果肉（丸い面）の真ん中に置く

② ひだを寄せながら包み込む

③ ひだの部分をハサミで切る
ギリギリではなく少し上目で。

④ 重なった部分をしっかり押さえ、**厚みを均一**に整える

⑤ 浮いている部分をもう一度ハサミで切り落とす

⑥ クリアファイルの上で軽く押しつけながら、しっかり密着させる

⑦ 爪楊枝を刺してスポンジで乾燥

★ 密着がいちばん大事

カットのときボンドが刃に詰まるので、ここではボンドを使いません。そのぶん密着が甘いと、切ったあとに皮がはがれます。「**最初から一つだった**」くらいに一体化させてください。

5 皮と果肉の間の「濃い緑」を塗る

● ディープグリーン ● ローアンバー を1：1

① 2個分で直径1cmくらいの量を出して混ぜる

② **水はほぼ含ませず**、もったり重たい絵の具にする

③ すーっと塗るのではなく、**ベタベタのせるように厚塗り**
薄く塗ると、カットしたときに緑の層が見えませんが、筋や筆跡はついていてOK。

④ メロン・夕張メロンとも塗り、スポンジで乾かす
爪楊枝まわり（切り落とす部分）は汚れても気にしなくてOK。



メロンの濃い皮の色（ディープグリーン+ローアンバー、水なしでもったり）

6 網目の準備（モデナペースト・コルネ）

網目用のモデナペーストを作る

量の目安は直径3cm分くらい（量産したい方は多めに）。

① モデナペーストに**ホワイトを先に**混ぜる
透け防止。網目は透けていないため。

② **松葉色**を少々

③ **イエローオーカー**を少々

④ 手順5の**ディープグリーン+ローアンバー**を少々

⑤ 写真と見比べながら少しずつ調整
入れすぎると戻せません。乾くと少し濃くなります。



網目模様の色（白っぽく、ほんのり黄緑）

♡ 網目は思っているより白っぽい

メロンが緑に見えるのは、網目の**内側**が緑だから。網目自体は白っぽく黄色っぽい色です。

💡 モデナペーストの扱い

乾くと半透明になり、少し色が濃くなります。内ブタは捨てず、フタはしっかり閉める。**清潔なスプーンで取る**（汚れた道具だとカビることも）。使い始めの柔らかさを覚えておく◎。

チョコソースでホワイトを入れないのは、絵の具の量が多くて透けないから。今回は絵の具が少ないのでホワイトで透けを防ぎます。

コルネに入れる

① 爪楊枝ですくってコルネに入れる
入れすぎるとあふれます。

② 口を三角に折り、さらに2回折ってセロテープで止める

③ **チェック**：押してみて、先端から出てこなければOK
押しただけで出てくる場合は、先端が締まっていないので作り直し。

コルネの作り方

① 正方形のOPPシートを対角線で切り、三角形にする（サイズは自由）

② 底辺の真ん中を指で持ち、そこからくるくる巻く

③ 反対側のラインと合ったところでセロテープで止める

④ 親指と人差し指で**先端の穴をキュッと締め切る**
先端が尖り、穴が開いていない状態に。穴があると細い線が描けません。

⑤ セロテープで止め、上の余分を切り落とす

- **作り直すとき**：新しいコルネを用意し、古いコルネの先を切って絞りを入れれば入れ替えられます
- **残ったペースト**：先端をテープでぴたりふさぎ、ジップロックへ。数日もちます

7 網目の内側の緑を塗る

○ ホワイト ● 松葉色 ● イエローオーカー ● ディープグリーン

- 写真を見ながら色を決める
- ここも**水は含ませず、もったり**。厚塗りするので絵の具は多めに作る
- 手順5の濃い緑の上から、ベタベタ塗り重ねて乾かす
- ひび割れができていても気にしないでOK（網目で隠せます）



メロンの2回目の皮の色（網目の内側の緑）

8 網目を描く（コルネ）

① コルネの先端を**ほんの少しだけ**切る
切りすぎると線が太くなります。

② まずOPPシートで、まっすぐの線・波線などを描いて練習

③ メロンに描く：**コルネ側は固定**して一定にしばらく出し、爪楊枝の軸をくるくる回して全体に

④ 模様はランダムでOK。線をどんどんつなげていくイメージ
ひび割れが見える部分は、網目で隠すように描きます。

★ 細かいほど本物らしい

網目が粗いとメロンらしさが落ちます。できるだけ細かく埋めていきましょう。

💡 きれいに描くコツ

片手にティッシュを持ち、**先端が汚れたらすぐ拭く**。詰まったらコルネをもみもみして流す。

線が太くなる原因は、先端が細くできていない／切りすぎ／**力の入れすぎ**（力はほとんどいりません）。

♡ なぜ絵の具でなくモデナペースト？

網目はぶっくり立体的だから。絵の具だと平面的になります。細い線は練習あるのみ。1回で成功させようとせず、何度もやってみてください。

9 カットする（4〜5時間置いてから）

置く時間の考え方

置く時間	カット	質感づけ
短い（中が生）	難しい（つぶれやすい）	つけやすい
長い	簡単	つけにくい

- 慣れないうちは**長めに置いてOK**。上達すると短い時間でも切れるようになります
- 余裕があれば、4時間後と8時間後で切りやすさ・質感を比べる実験もおすすめ

半分に切る → 上面を落とす

① カッターの刃を**真上から見て一本の線に見える向き**（垂直）に構える

② 支える手は**添えるだけ**
押しつけるとつぶれます。

③ 中心を決めて、**のこぎりのようにゆっくりギコギコ**切る

④ 一番下は硬いので、最後にぐっと力を入れてスパッと切る

⑤ 汚れた上面（スケールの口側）を**約1mm**、同じ要領で切り落とす

質感をつけて、4等分に

① すぐ使わない分はラップしておく

② 断面を**歯ブラシでトントン**叩いて、果肉のポコポコ感を出す

③ 横から覗くように中心を決め、さらに半分に切る
皮側・断面側、やりやすい方から。

④ 新しい断面にも歯ブラシで質感をつける

⑤ **ピンセットで種の部分をこそげ取る**。裏返して反対側もきれいに取りすぎず、少しもさもさ感を残すと本物らしくなります。

⚠ カッターの刃は毎回拭く

1回切るごとに必ず拭きます。粘土が残ると切れ味が落ちます。

💡 夕張メロンのトラブル対処

皮がはがれた：カット後ならボンドでOK。はがれた部分にボンドを塗って貼り付けます。

先端のラインがそろわない：ハサミで先端をカットして整えてOK。

10 仕上げ（1日乾燥させてから）

メロン：完熟感を足す

① レモンシロップを水（または薄め液）でかなり薄める

② 筆にたっぷり含ませてティッシュオフ

③ 種があった部分に、ちょんちょんとなじませるように少しだけのせる
塗るか塗らないかで、熟した感じがかなり変わります。

- 果肉の色が薄すぎたら：メロンシロップをものすごく薄めて果肉に塗ると、少し色を足せます

夕張メロン：完熟感を足す

① オレンジシロップを水でかなり薄める

② 筆にたっぷり含ませてティッシュオフ

③ 種があった部分に、ちょんちょんとなじませるように少しだけのせる

夕張メロン：境目をなじませる

① 松葉色を水たっぷりで薄め、ティッシュオフ

② オレンジの果肉と緑の皮の境目に、見えるか見えないくらい薄く色を入れる

③ 反対側も同様に

ニス

部分	仕上げ
果肉（断面）	ジェルメディウムを綿棒でトントン。ポコポコ感を残しながらツヤが出ます（ツヤありニスでも可）
皮	ツヤなしニス（メロンの皮はツヤがないため）

- ジェルメディウムはたっぷりのせてOK。白く見えても乾くと透明になります
- 夕張メロンは皮の際（緑の層）までしっかりの色をのせると、断面に一体感が出ます
- 長く置いて歯ブラシで質感がつけられなかった場合も、ジェルメディウムで質感を足します

Q レッスン中の質問から

桃はアクリルガッシュのイエローだったのに、メロンはなぜシロップ？

桃は入れる黄色の量がとても少ないので、ガッシュでも透け感にほとんど影響しません。メロンは色をしっかり入れるので、透明感のある塗料を使います。

レッスン動画が唯一の正解ではありません。「レモンシロップで着色したら？」と自分で実験して、好きな方を選ぶのもおすすめです。

今から乾かして16時ごろのカットは、初心者には早い？

少し早めですが、物理的には切れます。難しいかもしれませんが、やってみるのも良い経験です。

爪楊枝を浅く刺すと、色塗りのときにぐらぐらする

爪楊枝の軸を回しながら、人差し指を作品に軽く添えると、ぐらつかに塗れます。イチゴを塗るときも同じです。

◆ 透け感は「粘土 × 塗料」で決まる

透けない	モデナ × ガッシュ（白＋色）	透けない
	モデナ × シロップ	ちょい透け
ちょい透け	モデナ＋スケルくん × ガッシュ	ちょい透け
	スケルくん × ガッシュ	ちょい透け
透ける	スケルくん × シロップ	いちばん透ける

作りたいフルーツの質感にどの組み合わせが近いかは、実験してみないと分かりません。これが自在にできるようになると、粘土と塗料を自分で選べるようになります。

★ 上達のポイント

必ず本物が写真を見ながら作る。動画だけを見て作ると、頭の中の解釈で本物から離れていきます。レモンなどは実物を輪切りにして見るだけでも変わります。

指定した絵の具は「この種類で色を作る」というヒント。配分は写真と見比べて自分で決めましょう。

色合わせもアイシングも、1回で成功させなくてOK。「前はこうだったから今回はこうしよう」と何度もリトライするのが一番の上達法です。

できたら、ぜひバンドにアップしてね♡
分からないこと・うまくいかないことは、どんどん質問してください
ミニキャン7期 Zoomレッスン